



ITOCHU KENZAI CHIKYUGI®

伊藤忠建材の環境配慮型商品

DWファイバー

ICKECO-2020-000

- 国産木材の端材や未利用材をからつくられた土壤改良材。
- 100%バージン木材の繊維を使用し、土の中で分解・土壌化できるため、環境負荷が少ない資材です。
- 純国内産フルボ酸を使用。林業の復興や防災・減災にも貢献します。

●販売元

大建工業株式会社

●構成成分

バージン木材(バーク・葉を含む)
建築廃材不使用、樹種は限定しない。

●環境認証・認定

NETIS登録:
KT170110-A (区分: 材料)

●使用サイズ

外観: 不均一に繊維状
嵩密度: 350kg/m³未満
荷姿: 1,000Lフレコン袋入り

国産材から生まれた土壤改良材

DWファイバー®

緑化や植栽の基盤として適していない土壌を改良する働きのある資材です。土壌へ混合するほか、山間地での航空緑化工や植生マット工による緑化工事など、幅広い工法・用途で活用できます。



DWファイバー 3つの特徴

特徴1

国産材の有効活用

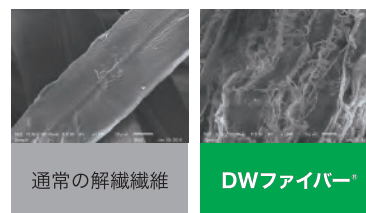
国産木材の端材や未利用材を利用し、サステナブルな社会に貢献。



特徴2

優れた透水性・保水性

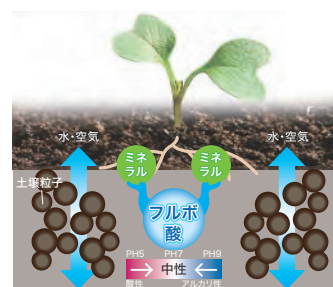
ランダムに枝分かれした繊維形状にすることで、土壌内に水みちをつくります。



特徴3

植物の成長促進

純国産フルボ酸を添加しており、光合成の活性化や土壌の団粒化などの効果をもたらします。



DWファイバー®の活用は森林の保全につながり、
林業の振興や防災・減災にも貢献します。



伊藤忠建材株式会社

<https://www.ick.co.jp/>

©2020 ITOCHU KENZAI CORPORATION

実験により優れた機能性を証明。 DWファイバーはさまざまな場所で活用されています。

※事例については一例であり、実際の施工方法・現場条件によって効果が異なる場合があります。

土 壌 改 良 試 験

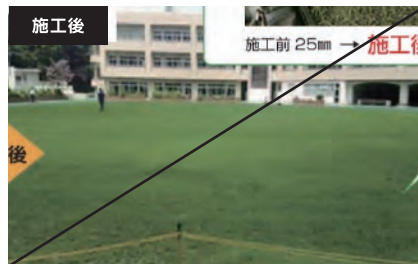
防草目的でアルカリ性に改良された土壌に、DWファイバーを混合。
芝を植栽することで芝生化に成功しました。



土壌硬度:25mm 土壌水分:8%

1.5ヶ月後

土壌が
柔らかくなり、
水分量が増加。



土壌硬度:14mm 土壌水分:16%

芝生化に
成功

■施工事例1／山腹治山工事(福島県)

防災対策

人や車両が立ち入れない奥地や山地に、ヘリコプターで種子や客土を散布。
緑化することで土砂の流出を防止します。

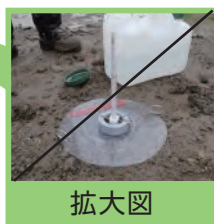


透 水 性 試 験

降雨によって含水率が高くなっている状態の盛土でもDWファイバーを
3%混合することで、30mm/h以上の透水性となることが確認できました。

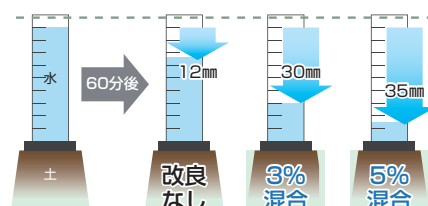


試験盛土を造成し、
長谷川式現場透水試験を実施。



拡大図

■試験結果



透水性の
改善に成功

■施工事例②／「千年希望の丘」植生基盤工事(宮城県)

土 壌 改 良

公園緑地の水はけが悪い土壌にDWファイバーを混合。水みちができ透水性が改善され、
フルボ酸による植物の成長促進効果の維持も期待できます。



<お問い合わせ先>